

## 会 議 議 事 録

1 会議名	第3回第2次長岡市自殺対策計画策定会議
2 開催日時	令和6年1月30日（火曜日） 午後2時から午後3時30分まで
3 開催場所	さいわいプラザ6階大会議室（オンライン会議併用）
4 出席者名	<p>（委員） 田中会長 砂山委員 土田委員 高橋委員 高坂委員 佐藤委員 島宗委員 田中委員 大川委員 寺嶋委員 星野委員 澁谷委員</p> <p>【オンライン参加】 関谷委員 米山委員 反町委員</p> <p>（関係課） 人権・男女共同参画課 松木課長 市民窓口サービス課 武樋課長 市民協働課 五十嵐課長 福祉総務課 杉本課長 長寿はつらつ課 五十嵐課長 学校教育課 小林課長補佐</p> <p>【オンライン参加】 地域振興戦略部 江田課長 福祉課 山田課長 産業立地・人材課 門脇室長</p> <p>（事務局） 福祉保健部 水島部長 健康増進課 五百川課長 曾根課長補佐 こころの健康づくり担当 井口係長 生活習慣病予防担当 久保係長 食育担当 田中係長 北西地域担当 西脇係長 南地域担当 関本係長 栃尾地域担当 柳橋係長 大関保健師 五十嵐保健師 江村保健師 小川保健師 小見主事 監物会計年度任用職員</p>
5 欠席者名	<p>（委員） 中村委員 鈴木委員</p> <p>（関係課） 生活支援課 老田課長 子ども・子育て課 遠藤課長補佐 消防本部警防課 大川課長</p>
6 議題	<p>（1） 第2次長岡市自殺対策計画素案に対する意見の反映について</p> <p>（2） 相談窓口案内リーフレットについて</p> <p>（3） SNS等相談連携事業専用アカウントカード配布に関する経過報告</p>

7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題（１）第２次長岡市自殺対策計画素案について説明し、承認された。</li> <li>・議題（２）相談窓口案内リーフレット案について説明し、意見を伺った。</li> <li>・議題（３）SNS 等相談連携事業専用アカウントカード配布について経過報告を行った。</li> </ul>
8 審議の内容	
事務局	○開会、資料の確認
会長	<p>○会長あいさつ</p> <p>令和５年の自殺者の暫定値が発表され、長岡市は62人、男性が44人、女性が18人でした。第1次計画目標値の51人を上回る結果となりましたが、これは皆様それぞれの努力が足りなかったということでは決してなく、これからも計画に沿って取組を継続していただきたいと思います。</p> <p>自己紹介については時間が限られておりますので、出席者名簿および座席表で御確認ください。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>「議題（１）第２次長岡市自殺対策計画素案に対する意見の反映について」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (健康増進課長)	○議題（１）第２次長岡市自殺対策計画素案に対する意見の反映について (資料No. 1により説明)
会長	<p>委員の皆様から貴重な意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>第２次長岡市自殺対策計画素案についてほかに何か意見はございませんか。</p> <p>素案について修正が必要という意見はないようですので、委員の皆様から素案について了承が得られたということによろしいでしょうか。今回提示された素案に対し、承認される方は拍手をお願いいたします。</p> <p>拍手多数ということで、第２次長岡市自殺対策計画はこれで決定といたします。</p> <p>それでは次の議題に移りたいと思います。</p>
事務局	○議題（２）相談窓口案内リーフレットについて (資料No. 2, 2-2により説明)
会長	<p>今ほど事務局から説明がありましたが、リーフレットの内容や配布先、活用していく上でのアイデア等、意見がありましたらお願いいたします。</p>

委員	<p>弁護士会として長岡相談所で相談会を実施しておりますので、それも入れてもらえればと思います。弁護士の相談は多岐にわたるので、カテゴリーが難しいかもしれませんがレイアウトは一任します。</p>
委員	<p>相談先を見るとライフリンク等の外部の相談はSNS相談がありますが、役所の相談は電話のみです。すぐに導入とはならないと思いますが、若い人は電話が極度に苦手なので、役所の方もメールやSNSによる相談を中期的には考えていく必要があると思います。今すぐ対応はできないと思いますがこの機会に意見を述べさせていただきます。</p>
会長	<p>これは市役所の方で検討していただければと思います。 ほかに御意見があればお願いします。</p>
委員	<p>高齢者については、慢性的なからだの痛みが希死念慮に関わっていることがわかっていきますのでリーフレットの配布先に整形外科を加えていただければと思います。</p> <p>夜に希死念慮が高まって朝方に実行する、または平日は仕事などやることがあって気が紛れるが休日に希死念慮が高まるということがあり、その時間に対応できる機関がなかなかないと思います。リーフレットの最後の24時間相談できることやSNS相談窓口を最初にもってきたほうが、死にたいと思っている人にとっては役に立つのではと思いました。長岡市のリーフレットなので難しいかもしれませんが御検討いただけたらと思います。</p>
委員	<p>4月から精神保健福祉法が改正されることに伴い、私ども保健所のところに記載されている「眠れない、憂鬱な気分が続く、やる気が出ない」といった、こころの全般的な相談というのは一義的に市町村の方でも受けることになっております。</p> <p>どちらかという私ども保健所の方は困難ケースを市町村から相談を受けて一緒に動くとか、これまで通り措置対応、強制的な入院の際の動きとなると思います。ですので、保健所の文言については検討が必要だと思います。</p>
委員	<p>このA4サイズだとたくさんありすぎるので、ポケットサイズのようなものと手帳に挟んでおけて良いのではないのでしょうか。いつ必要になるかはわからないけれど、持っているともしかして役に立つことがあるかも、という面で検討していただければと思います。</p>
会長	<p>これはカラーでしょうか。</p>
事務局	<p>カラーで、少し上質な紙を使用したいと思います。</p>

会長	各機関に何枚配布するとか、年に何回配布するとか、配布スケジュールは決まっていますか。
事務局	枚数は予算の範囲で振り分けていきたいと思います。年度当初の早いうちに配布したいと思いますし、不足した場合は再度お配りします。リーフレットは毎年更新して配布します。
委員	配布先ですが、もっと様々な年代の方に見てもらおうのであれば、スーパーやショッピングセンター等に配布するのも有効ではないかと思います。若い年代の方の自殺が多いということに関しては、学校にリーフレットを置くのも賛否があるかもしれませんが、生徒さん自らが連絡できるような工夫や、小学生や中学生は、もう少しわかりやすい表示で連絡先が周知できないものかなと思いました。
会長	学校に置くというアイデアはどうでしょうか。
事務局	大学や専門学校についてはぜひ置いてもらいたいと思っていますので、今後相談させていただきたいと思っています。 小中学校は、教育委員会と相談させていただきます。
会長	ほかに御意見ある方いらっしゃいましたらお願いします。
委員	今回相談窓口を一枚にまとめたのはとても意義があると思います。今日たくさん意見が出たように、リーフレットが対象者向けなのか、支援者向けなのか、また緊急性があるものなのかどうか、そこが全部一緒になっています。そこを整理すると使いやすくなると思います。
会長	ワンストップで相談できたらいいと思います。ほかに御意見がないようでしたら、議題3に移ります。
事務局	○議題（3）SNS 等相談連携事業専用アカウントカード配布に関する経過報告について（資料 No. 3 により説明）
会長	カードを配って、そこから繋がった事例は、まだないのでしょか。
事務局	この専用アカウントカードから繋がった事例はまだありませんが、ライフリンクの「生きづらびっと」という一般に公開している SNS 相談からは1件、長岡市に連絡が入ってきたケースがありました。そちらについては健康増進課とパーソナル・サポート・センターで対応した事例があります。

<p>会長</p>	<p>SNS のカードは始まったばかりの事業ということで、各医療機関や事業所で拒否反応が出ないといいなと当初心配していましたが、そういったことはなく、カードの配布は快く引き受けてくださって、非常に安心しております。</p> <p>ほかの意見が特になければ、この事業に関しては今後どのように推移していくかを見守っていきたいと思います。</p> <p>以上で議題の方は終了になります。</p> <p>最後、委員の皆様から御意見を頂戴したいと思います。感想や今後の意気込み、希望など、一言ずつお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>コロナ禍以降、不登校のこどもが増えたと聞きますが、両親が仕事に行っている間、こどもが悩んでいることを市に相談したりすることや市の対応はいかがでしょうか。</p>
<p>学校教育課長補佐</p>	<p>相談窓口案内リーフレットに掲載されている「子どもサポートコール」「子ども・青少年相談センター」の相談の周知に加えて、訪問支援員による家庭訪問といったアウトリーチ型の支援も行っています。不登校の児童生徒が、どこにもつながっていない状態というのは非常に問題だと思っています。これまでの支援に加え、配備された1人1台のタブレット端末を活用したSOSの出し方について、他の教育委員会の事例を研究しながら、検討していきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>相談窓口の周知に関しては、どうしても届かない人たちがいます。特に若年女性、若年の方たちは、紙ベースを見るのがあまりないように思っています。先の話にはなりますが、こどもたちがタブレットを持つ時代ですので、アプリの開発ができたらもっと繋がりやすくなると思います。遊びながらでも押していくと支援先にたどりつく、というようなものができればいいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>委員として参加するまでは市内の自殺者がこれほど多いとは知りませんでした。また、市民から見たらこれだけの取組をやっていることは多分伝わっていないと思いますので、市民の方に知ってもらいたいと思います。私も仕事としてはこういった関わりがありますが、生活者の目線で考えていかなければいけないなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>職域における自殺予防対策というところで、安全担当課長と相談して、ゲートキーパー研修を職域のメンタルヘルス担当である衛生管理者に対して、周知しているところです。そもそも、ゲートキーパー研修を職員のメンタルヘルス対策として周知することは対策として有効と考えるか、お聞きしたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>労働基準監督署が職域でのメンタルヘルス対策をきちんと対応してくださり、ゲーキーパー研修を積極的に周知してくださって非常に心強く思っています。そういった活動をすることによって、長岡市の自殺対策は確実に上がっていると私は信じておりますので、これまで同様に御支援いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私どもは、いのちとこころの支援センターを持っておりまして、自殺対策は重点課題になっております。これからもっと取り組まなければならないのは未遂者支援です。また自死遺族のケアというところもまだ手が届いていない部分でもありますので、今後考えていかなければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>この計画につきましては本当にしっかり内容が考えられてると思います。生きることの包括的支援ということで、こども、若者から高齢者まで、広く様々な生活課題を抱える人たちの突き当たる問題を、当然のこととして、あらゆる機関が連携するということがしっかり盛り込まれています。</p> <p>これから5年間、計画に沿って、目標に向けて、当センターとしてもしっかり努めていきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>計画案を拝見させていただいて、総事業数146ということで当所も微力ながら協力をしていければと思っております。</p> <p>先ほど〇〇委員がおっしゃられた職域のメンタルヘルス担当者というお話ですが、当所もメンタルヘルスセミナーを今年度は2回開催している中で、「担当者」と呼ばれる方は意外に少なく、そこにターゲットを当てると難しいと感じました。ただ、事業所内においては総務担当者、労務担当者、または人事担当者という方が必ずいるので、裾野を広げて御案内をされるといいと思いました。私どももそういったセミナーの周知の協力をさせていただきたいと思っております。</p> <p>以前にもお話をさせていただきましたが、当所のホームページから、労働基準監督署にリンクを貼らせていただく形で周知に御協力ができればと思います。</p> <p>最後に、相談窓口のリーフレットですが、内容がたくさんありすぎてどこを見ていいかわからないというのが正直な感想です。やはり電話というのは今の若年層になじまないのではという感想が一つと、夜にそういう衝動に駆られることを踏まえると、夜対応できる策が一番最初に来るのがいいと私も感じたところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>計画の方は幅広い方たちと様々な施策が考えられていて、細やかな計画ができていたと思いました。これを一つ一つ確実にやっていくことが大事だと思います。私は相談を受ける立場ですが、発信力の弱い方にもどのように相談窓口につなげていけるのか気にしながら仕事をしていきたいですし、そのためのスキルを上げていかなければと思います。</p> <p>死を考えた人と向き合うという時には皆様と連携させていただければありがたい</p>

委員	<p>と思います。</p> <p>死にたいという思いを抱えた人を死なずにいてもらうためにはどうしたらいいかというと、孤独にさせないこと、希望を持ってもらうことだと思います。私が以前、面接という形でお会いした方は、自分がいなくなっても誰も悲しまない、世界は何も変わらない、自分なんか死んでいいんだ、と言っていました。そういった方々に、ゲートキーパーみたいな方が気付いて、心配している、死なないでほしいと伝えることで防げると思いますし、いろんな相談窓口を知って、ここに相談したらなんとかなるかもしれないと希望を持つことで防ぐことができると思います。</p>
委員	<p>この計画を見て、たくさんの職種の方が関わっていて大変心強く思います。薬剤師会も今は連携という言葉がキーワードになっており、多職種と繋がって、社会の狭間を埋めたいと思って活動しております。</p> <p>自殺企図に関しては、衝動をどう抑えていくのかも重要になると思います。日頃は落ち着いている方でも、アルコール、薬、フラッシュバック、孤独等、いろんな衝動の場面がありますが、その衝動の波が高くならなければ防げることもできるのではと思います。</p> <p>また仕事の一環で、学校薬剤師の仕事をしておりますが、今、学校でも大麻やオーバードーズが問題になっており、そのようなこととお話してほしいという依頼があります。若い人の中でこれだけ大麻が広がってしまったという原因は、やはり SNS の利用というものがあると思います。検索する中で知らない広告が出てきて、気になって覗いて見たらどんどん進んで、最後にそういうところに辿り着いてしまいます。それを私たちも逆手に取って、このような繋がる情報というものを検索して、良い方に繋がっていったいけるツールがあればいいと思います。</p>
委員	<p>自殺対策計画は非常によくまとまっていて大変良かったです。自分が関わっている活動の中で、自殺対策について話したところ、「お金にならない」と言われ、「そういう気持ちでやってないんだけどな」とショックを受けました。一步外に出るとまだまだ自殺を阻止しなければという想いは薄いのだと思いました。</p> <p>少し宣伝になりますが 3 月 7 日に弁護士会と保健所が毎年やってる勉強会があります。パーソナル・サポート・センターと関わっていた生活困窮者の事例ですのでお時間ある方は御参加ください。</p>
委員	<p>各小学校や中学校、高校などの学校では、児童生徒の悩みについて、早期に対応しているスクールソーシャルワーカーや、臨床心理士などの専門職が活動されています。この自殺対策計画の概要や、相談窓口案内リーフレットなどを、そのような方々にも説明する機会を持つことも必要ではないかと思っております。</p>

委員	<p>私は10年前に新潟市の江南区で、自殺の介入研究していましたが、その時に企業に保健師さんと一緒に訪問させてもらい、今回作ったようなパンフレットやリーフレットを置いてきたりしていました。今はもう対面や電話ではなくて、アプリやいろんなもので情報発信していく時代なんだとしみじみ感じました。情報発信するときに、情報が埋もれないように、何か工夫が必要なのかと思いながら皆さんの議論を拝聴しておりました。</p>
委員	<p>一つだけ各論について述べさせていただくと、長岡市は仕事を持った働き盛りの男性の自殺者数が非常に多いということで、職域のメンタルヘルス対策のところに今回かなり踏み込んで計画していただいていると思いました。労働基準監督署の署長さんがリーダーシップを取っていただいているのも心強いです。その中でも職域対策の中で健康経営の取組の推進というところで商工会議所や、産業立地・人材課にも御協力いただき、相当、踏み込んだ取組になっていると思います。健康経営を進めることで自殺者を減らせば、生産性も上がって、企業の方もメリットがあると思いますし、ぜひ私も、この職域の自殺対策を皆様と一緒に、何かできればと思っています。</p> <p>最後に、計画は出来上がったわけですが、せっかく皆様の協力関係ができましたのでこれを実行に移していく段階でも、策定のプロセスで培われた連携体制をもって、みんなの仕事として長岡市の自殺対策に取り組んでいただければと思います。</p>
会長	<p>議事も終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様から、第2次長岡市自殺対策計画案は承認されましたので、今後計画書の冒頭に市長の挨拶文を加え、3月に発表したいと考えております。</p> <p>冊子が出来上がりましたら、委員の皆様のところへ郵送させていただきます。</p> <p>閉会にあたりまして、〇〇部長より御挨拶申し上げます。</p>
部長	<p>皆様、本日は大変ありがとうございました。この計画書もゴールが見えてきたところでございますが、行政の頑張りどころはこれからだと思っています。市民の皆様はこの取組を、どう理解していただくかについては、また委員の皆様から御意見をいただきたいと思っています。長岡市は官民間問わずいろんな方々が、市民の皆様を支えますというメッセージを発することができたらと思っています。皆様との協力体制で頑張っていきたいと思いますので引き続きよろしく願いいたします。</p>
9 会議資料	別添のとおり



